学校番号	３２６

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１（教育芸術社）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・聴く、演ずる、創るという音楽の諸活動を通して、実際に音楽そのものを体験することで、音楽における知識と技能を身につけてほしいと考えている。
・学習の到達度は、提出物（ワークシート）と実技テストで評価する。
・音楽の学習は、実際に音楽に接することによりなされるもので、とくに他者とアンサンブルすることにより、より深まっていくものである。
・音楽を生涯にわたって愛好する心情を育ててくれることを期待している。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などと関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取組もうとする。
評価方法	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単元	学習内容	単元の評価規準	主な評価の観点		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	校歌 翼をください Lemon	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取組もうとしている。	正しい音程とリズム。	歌詞の内容にふさわしい表現。	積極的に歌う姿勢。
	器楽	第三の男のテーマ	a:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取組もうとしている。	正しい音程とリズム。	曲の内容にふさわしい表現。	主体的に取り組むアンサンサンブル。
	鑑賞	バレエ音楽 「火の鳥」組曲 (ストラヴィンスキー)	a:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	曲に対する理解。		積極的な聴取。
2学期	歌唱	この道 夏の思い出	a:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発生、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c:曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	正しい音程とリズム。	歌詞の内容にふさわしい表現。	積極的に歌う姿勢。
	合奏	Clap,Tap with cups!	a:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 c:リズムに関心をもち、意欲的に表現しようと主体的に取り組もうとしている。	表現の技能。		積極的に表現する姿勢。
		リズム・アンサンブル	a:表現したいことを表す技能をもっている。 b:リズムの働きと効果を考え、その組み合わせによる表現意図をもっている。 c:学習したリズムを使い、その特徴と表現上の工夫をし、リズム・アンサンブルを創作する。	表現の技能。	表現の意図	積極的に表現する姿勢。
	鑑賞	【鑑賞】 能「道成寺」	a:日本の伝統音楽である能に関心をもち、実際に映像を見ることで独特の表現に親しむ。 c:日本音楽の独特の雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考え、音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	曲に対する理解。		積極的な聴取。

	器楽合奏	ミッション・インポッシブルのテーマ	a:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c:キーボードや打楽器のアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取組もうとしている。	表現の技能。	表現の意図。	積極的な表現。
3学期	鑑賞	オペラ「カルメン」(ビゼー)	a:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚・感受し、アリアの演奏を聴くことにより、それらの価値を考えることによりオペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c: 総合芸術オペラの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	曲に対する理解。		積極的な聴取。
	歌唱	カーロミーオベン(斉唱・原語)	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	伸びやかな歌唱。	歌詞の内容にふさわしい表現。	主体的な取り組み。
	合唱	サザエさん	a:曲想を歌詞の内容や楽曲が表現しようとする内容を感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲のもつ雰囲気やハーモニーを感受し、声によるアンザンブルに主体的に取り組もうとしている。	創造的な表現。	表現の意図。	積極的なアンサンブル。

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。